

授業科目名	内部監査の実務講座(公認内部監査人準備講座)		
担当者名	近藤 利昭 (実務家教員)		* 全12回授業を担当
開講年度学期	2019年度 前期	開講キャンパス	目白キャンパス
単位数	2	開講期・授業区分	週間授業
授業の概要	<p>先進諸国では内部監査業務への女性の進出、登用は、弁護士や公認会計士同様多くみられます。内部監査は社会のニーズも高く、成長性ある仕事で、今日日本で女性の進出が大いに期待されています。本講座は、女性の内部監査人の育成をめざす日本で唯一の講座で、社会の求めるニーズと皆さんの新たな可能性の架け橋となるものです。</p> <p>役職員の会社資金の横領や着服、経費の流用やキックバック、粉飾決算など社会の信頼をゆるがす企業の不祥事があとを絶ちません。内部監査は専門的な知識と注意深い目線で、会社の管理体制を検証し、これらの不正の発生を未然に防ぐことに貢献します。また、会社のしくみやルール(「内部統制」という)の有効性と効率性を定期的に検証し、評価した上で、是正と改善に向けた提言を行います。このように会社の経営に幅広く役立つのが、内部監査の仕事です。</p> <p>内部監査は息の長い専門性を保証し、内部監査人に求められるのは仕事への誇り、監査の知識に裏付けされた改善への意欲、そして不正を許すことのできない責任感です。</p>		
授業の到達目標及びテーマ	本講座では、内部監査の仕事をやさしく解説し、監査業務に必要な内部統制の知識や監査理論の習得、ワークショップ等を通じて、皆さんの新たなキャリア形成を支援いたします。		
	回数	授業内容	講義形式
授業計画	1.	(特別講義)内部監査の業務と成長性—ニューキャリアの創造	
	2.	内部監査の国際基準「専門職的实施のフレームワーク」	
	3.	内部監査に求められる独立性と客観性	
	4.	会社の内部統制の定義とフレームワーク	
	5.	ガバナンスとコンプライアンス	
	6.	リスクの理解と情報セキュリティ	
	7.	コントロールの知識	
	8.	不正行為の種類と不正防止への内部監査の役割	
	9.	リスクベースの年度監査計画の立案	
	10.	個別監査の監査計画の策定	
	11.	個別監査の実施と結果の伝達	
	12.	(ワークショップ)不備事例の真因の究明	
成績評価の方法	課題レポートの提出と審査		
使用テキスト	授業毎に資料を配布します。		
参考書(参考資料等)	内部監査を活かす術—プロがあかす監査業務の38の極意		
その他 (受講生への要望など)	内部監査は上場会社を中心として、どのような業種にもあります。決して難しい仕事ではありませんが、専門的な知識が必要となります。しかし、そこで学ぶ「リスク管理」の考え方は、監査業務だけでなく、ひろく社会生活にも応用できるものです。本講座が提供する内容、受講の機会は、皆さんにとりまして、きわめて稀有な経験となるでしょう。		